

量の概念をつくる

1. 「量」を動作化する。



2. 「量」を体感する。

- 長さ：指や手や歩幅などを使って、長さを測る。
- 重さ：実際に持ってみる。 など

3. 自分の言葉で「量」を表現する。

- 自分が感じた「量」を言葉で表現する。

4. 「量」の言葉の使い方を知る。

○机の横の長さ

○教室の広さ

○石の重さ

○ボールの大きさ

○入れ物のかさ・水筒のかさ

5. 「量」の比較に関する用語の使い方を知る。

○長い・短い

○大きい・小さい

○広い・狭い

○重い・軽い

○多い・少ない

6. 「量」の比較の方法を知る。

○直接比較の方法

○間接比較の方法

○任意単位による測定の方法